

## 寅さん歩 その26

### 東京の主要道路の起点～終点

### 平和橋通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」と歩いてきました。

今回は「平和橋通り」を歩いています。平和橋通りは足立区足立一丁目の千住新橋北詰交差点を起点に、江戸川区松島二丁目の八蔵橋交差点に至る延長約7kmの道です。写真右上は平和橋通りの道路名標識（都道308号線）です。

前回は起点から本田広小路交差点まで歩きました。

今回は本田広小路交差点から終点まで歩きます。

掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

**[本田広小路交差点]** 葛飾区立石二丁目

最寄駅 京成押上線 京成立石駅

本田広小路交差点（写真下右）で水戸街道（国道6号線）と交差します。左へ行くと青戸方面、右へ行くと言問橋方面です。

平和橋通りは平和橋、新小岩方面へ直進します。上は水戸街道の四ツ木陸橋です。



### [奥戸街道入口交差点] 葛飾区立石一丁目

最寄駅 京成押上線 京成立石駅

京成押上線の踏切を越すと奥戸街道入口交差点（写真下右）です。左へ行くと奥戸方面、右へ行くと四ツ木方面です。



### [平和橋] 葛飾区東立石一丁目～東新小岩八丁目

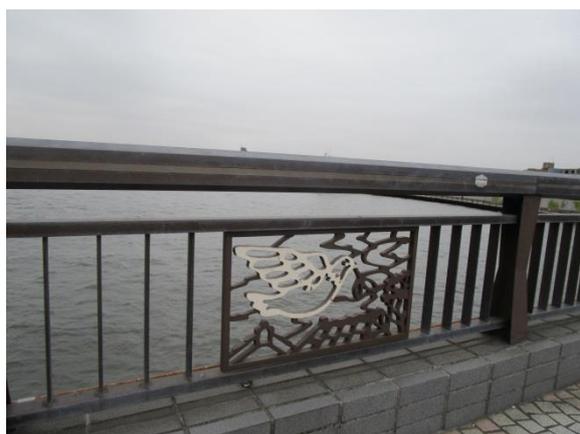
最寄駅 JR総武線 新小岩駅

更に進むと中川にかかる「平和橋」に到着です。平和橋通りの名の由来と推察

します。中川（写真下左）は埼玉県羽生市を水源に、葛飾区高砂で新中川と分  
流、綾瀬川を合流して荒川と並行して流れ東京湾に注ぎます。平和橋の初代は  
1947年（昭和22年）6月に架けられましたが、3ヶ月後のカスリーン台風の豪  
雨で落下、仮設橋でしたが、現在の二代目は1960年（昭和35年）架け替えら  
れています。写真下右は平和橋の北詰です。



写真下左は橋の欄干に鳩、橋名の上にも鳩がいます。写真下右は平和橋の南詰  
です。鳩は平和の象徴と理解しました。



**[天祖神社]** 葛飾区東新小岩八丁目 最寄駅 JR総武線 新小岩駅

橋を渡ると左側に天祖神社の鳥居（写真下左）が見えました。写真下右は社殿  
です。天祖神社は鎌倉時代 源頼朝の家臣 葛西三郎が創建したと伝わります。  
江戸時代には「皇太神宮社」・「葛西神宮社」と称し、1871年（明治4年）「天祖  
神社」と改称されています。総武線の拡張で旧境内が収用され、1954年（昭和  
29年）に現在地に移転しました。



## [上品寺・ゑんま大王安置堂] 葛飾区新東小岩七丁目

最寄駅 JR総武線 新小岩駅

更に進むと左側に「上品寺」・「ゑんま大王安置堂」と書かれた二本の大きな柱が目に入りました。中に入ると閻魔大王安置堂（写真下左）の前に説明板があり「当寺は真義真言宗にして八幡山 来迎院という。この閻魔堂に安置する閻魔大王坐像は、高さ 206 c mあり、かつては江戸 16 閻魔の一つとして栄え、区内最大のものである。閻魔大王は、地獄に住み 18 の将良と 8 万の獄卒を従え、死して地獄に落ちくる人間の生前の善意を正し、罪あるものには、苦しみを与える冥王として信仰する人が多い。当寺の閻魔は、江戸中期にもっとも盛んに信仰され、昭和 47 年に閻魔堂が新築され現在に至っている」と記載。

写真下右は上品寺（じょうほんじ）本堂です。上品寺の創建年代は不詳ですが、室町時代以前からの古刹とのこと。寅さん歩 169 お江戸のえんま大王—6 上品寺をご覧ください。



## [たつみ橋交差点] 葛飾区東新小岩五丁目

最寄駅 JR総武線 新小岩駅

たつみ橋交差点（写真下右）で蔵前橋通り（都道315号線）と交差します。左へ行くと新中川・千葉県との県境の市川橋方面、右へ行くと中川・荒川・蔵前橋方面です。



## [新小岩駅北口交差点] 葛飾区新小岩二丁目

最寄駅 JR総武線 新小岩駅

総武線のガードをくぐると総武線新小岩駅で、写真下右は新小岩駅前です。平和橋通りは直進します。



平和橋通りは江戸川区に入り進みます。

**[香取神社]** 江戸川区中央一丁目 最寄駅 JR総武線 新小岩駅

左側に香取神社の鳥居（写真下左）がありました。中に入ると説明板があり、「旧東小松川村の鎮守で、経津主命を祀り、建治3年（1277）の勧請といわれています。花崗岩の大鳥居は安永9年（1780）に建立、平成5年に建替えられました。本殿（写真下右）は平成8年8月に落成しました」と記載。



**[八蔵橋交差点]** 江戸川区松島二丁目 最寄駅 JR総武線 新小岩駅

香取神社の前が八蔵橋交差点（写真下右）で千葉街道（国道14号線）と交差します。八蔵橋交差点が平和橋通りの終点です。



写真下左は千葉街道と交差・平和橋通り終点の標識です。

写真下右は交差点から歩いて来た方向（右側）を振り返りました。



これにて平和橋通りを起点から終点まで歩きました。起点の千住新橋から平和橋までは初めて歩きましたが、平和橋以降の道は来たことがあり、懐かしい思いで歩きました。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年9月28日沼津宿（現在の静岡県沼津市）（江戸日本橋から118km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「沼津黄昏図」です。  
沼津宿は湾曲した狩野川の河口  
に位置します。旅人の背負う天  
狗の面にインパクトがあります。  
旅人の行き先は讃岐の金比羅様  
でそこに天狗の面を奉納します。

千本松原（写真下左）で知られる千本公園には若山牧水の歌碑

「幾山河 越え去りゆかば 寂しさの はてなむ国ぞ けふも旅ゆく」  
があります。

宮崎県生まれの若山牧水は、若くして漂泊の旅をかさねたのち、1920年（大正9年）沼津に居を構え、1928年（昭和3年）享年43歳でこの地で没しました。寅次郎、千本松原には小学校の遠足で来ています。

沼津の代表的な名物は干物（写真下右）やお寿司です。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝